

事務事業評価シート

評価実施年度：平成29年度

上位の施策名称	施策Ⅱ-5-1 道路網の整備と維持管理
---------	------------------------

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	土木部 都市計画課長 西村成人	電話番号	0852-22-5209
----------	-----------------	------	--------------

事務事業の名称	街路整備事業		
目的	(1) 対象	市街地の道路利用者	
	(2) 意図	安全で快適な街路整備により、都市内の移動や活動を容易にする。	
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 市街地の交通円滑化や地域間交流に資する、都市の骨格となる街路整備を進める。 安全で安心な歩行空間の確保のため、歩道整備を進める。 中心市街地の活性化に取り組む市町のまちづくりと連携した街路整備を進める。 歴史文化などの地域資源を生かした魅力あるまちづくりに資する街路整備を進める。 		

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名 街路整備率	目標値	69.7	69.7	69.9	69.9	70.1	%
		取組目標値						
	式・定義 (H25末+街路事業による改良実延長) / H25末幹線街路都決延長	実績値	69.3	69.3				
		達成率	99.5	99.5	-	-	-	%
2	指標名	目標値						
		取組目標値						
	式・定義	実績値						
		達成率	-	-	-	-	-	%

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b) (千円)	2,127,841	3,029,937
うち一般財源 (千円)	265,730	487,519

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	③改善策を検討中
---------------------	----------

5. 評価時点での現状 (客観的事実・データなどに基づいた現状)

・県内の幹線街路については、未だ整備されていない計画延長が118.86kmある。(H27.3.31現在)

6. 成果があったこと (改善されたこと)

・国の重点施策に該当するように交付金の整備計画を変更して、必要事業費を確保し、事業の進捗が図られた。

7. まだ残っている課題 (現状の何をどのように変更する必要があるのか)

①困っている「状況」

・国庫補助(交付金)については、配分額が安定していないことや重点施策の枠組みが年度毎に変更になることから、計画的な事業の推進が難しい。
 ・今後、数年間に新大橋、新高角橋、宇迦橋の橋梁工事を予定しているが、現状の予算では計画どおりの施工が難しい。
 ・H28~H30にかけて完了する工区が7工区あるが、今後新たな工区に着手することができない。

②困っている状況が発生している「原因」

・市街地での事業であるため、多額の費用を要する。
 ・大規模構造物の工事がほぼ同時期に予定されている。

③原因を解消するための「課題」

・予算の確保や施工時期の調整が必要

8. 今後の方向性 (課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方)

・国の重点施策の動向を見極めながら、予算確保に努める。
 ・用地の先行取得制度や債務を利用した年度間の事業費の調整する。